

【学校教育目標】「笑顔いっぱいの学校づくり」

～温かい心で認め合い、励まし合い、支え合う子どもの育成を目指して～

鬼塚小学校便り No.20

令和5年12月22日発行

文責 校長 市丸 明彦



モア スマイル



早いもので、82日間の2学期も今日で終わりです。明日からは、子供たちが待ちに待った17日間の冬休みが始まります。クリスマス、大晦日、お正月……。1年間の締めくくりと希望にあふれる新年の始まりと、子供たちにとって、学校生活の中では学ぶことのできないことを学べるよい機会となります。地域の行事に参加したり、家の手伝いをしたり、また、一家団欒の楽しさやお客様の接待、よそのお

宅を訪問しての礼儀作法などの大切さを学ぶには、年末年始ほどよい機会はありません。今日の終業式でも、日本の伝統文化や風習等に触れて、その良さや素晴らしさを実感するように話しました。

ご家庭では、何かとお忙しい日々をお迎えのことと思いますが、ぜひ、有意義な冬休みになるよう、よろしく願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対し、たくさんのご協力、ご支援をいただきました。どうもありがとうございました。3学期も引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

立派な人形劇でした

3年生が9月から取り組んできた人形劇「なしておんつか」を15日（金）に多くの方々に披露しました。

総合的な学習の時間に、郷土の鬼塚について学習する中、唐津人形浄瑠璃保存会の竹本鳴子先生のご指導のもと、これまでの練習の成果を立派に発揮できました。

校区の地名の由来となった伝承を3人1組で巧みに人形を操作し、大きな声で演じる姿を見ていると、3年生児童の大きな成長を感じ、本当に感動しました。

来年は今の2年生が演じてくれます。大いに期待しています。



立派な門松をありがとうございます

16日（土）に、公民館のチャレンジ教室に参加している子供たちや行政連絡員の皆さんに門松を作ってもらいました。

小雨の中の作業でしたが、手際よく作業をされ、立派な門松を作ってくださいました。

年明けの始業式ごろまで飾っておきますので、来校の際にはご覧になられてください。

